

東日本大震災一周年シンポジウム

東京湾北部地震時の帰宅問題を考える

平成24年3月9日(金) 14:00-16:30

明治大学駿河台キャンパス リバティタワー 1021教室(定員150名)

共催:効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議・明治大学危機管理研究センター

後援:内閣府政策統括官(防災担当)(予定)・東京都・千代田区

平日の昼間、首都直下地震が発生した場合、多くの人々が帰宅問題に遭遇する。
建物の倒壊、液状化、大火災などが発生する中、どのように行動すべきか。
自分の問題として、考えてみよう。

参加申込み:効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議
事務局(災害救援ボランティア推進委員会内)

TEL.03-6822-9900

(お名前とご所属をお伝えください)

土日祝日を除く10時~17時、定員次第締切

【プログラム】

挨拶 林 春男(京都大学教授)

報告 「東京湾北部地震の被害様相と帰宅問題」 中林一樹(明治大学特任教授)

「東京都の帰宅困難者対策の検討・展開」 醍醐勇司(東京都危機管理監)

「千代田区の帰宅困難者対策とこれからの展開」 石川雅己(千代田区長)

「大丸有地区防災隣組の取り組み」 合場直人(大丸有協議会幹事長)

「安否確認はできるのか」 山本康裕(NTT東日本)

「大学はどのように帰宅困難者を受け入れるか」 松橋公治(明治大学副学長) ※順不同

討論 司会:中林一樹 登壇:報告者